

「持続発展教育(ESD)に関する  
ユネスコ世界会議」に向けて  
産官学の夢を結集しよう!



特別シンポジウム

# 2050年の 大人づくりを目指して

Think globally. Act locally 地域が育むESD

「中学生の職場体験」と「ユネスコスクールの活動報告会」

地球温暖化による環境破壊が懸念される中、私たちは東日本大震災と原発事故という更なる試練に直面していますが、これからも自然に恵まれた環境で、安心して人々が暮らし続けるためには、未来を担う次世代をどう育てるかという課題が、ますます重要になっていきます。2002年の国連総会において、我が国の提案により、2005年から2014年までの10年間を「国連持続可能な発展のための教育(ESD)の10年」とすることが決議され、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)がその推進機関に指名されました。持続発展教育(ESD:Education for Sustainable Development)は、私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学びです。多摩市教育委員会では、「2050年の大人づくり」を掲げて2009年よりESD研修会をすすめてきました。これは、市民としての自覚、責任、能力を高め持続可能な多摩市を担っていく子どもたちを育てていこうというものです。そして、ユネスコスクールが発足して60周年となる2013年を期して、ESDを主体的に推進する多摩エリアの学校が中心となり、ESDの理念のさらなる普及促進を目指して、ユネスコ国内委員会の後援による特別シンポジウムを開催することになりました。

2013年3月9日(土)午後 多摩永山情報教育センター (定員800名／多摩市諏訪2-5-1)

第1部 13:00～14:50

地域の一員として  
～中学生の職場体験報告会～  
「ESDとしての職場体験」の報告会や、  
ゲスト・トーク「三國清三シェフ」、  
パフォーマンス「篠笛ライブ演奏」など



第2部 15:00～17:30

2050年の大人づくり  
～私たちが未来に伝え続けること～  
基調講演(ESDの10年—そして未来へ)、  
事例発表(ユネスコスクールの多摩地域の  
活動)、パネルディスカッション(ESDの成果  
を上げる広域&産官学コンソーシアム)など



入場無料 ただし事前申込みが必要です

申込み方法 「ユネスコスクール多摩地域ネットワーク」ホームページ <http://unesco-school-tama.jp/> の申込みフォームに必要事項を記入の上、「受付番号」の控えを当日ご持参ください。【問い合わせ窓口】多摩市教育委員会 TEL 042-338-6877

【主催】多摩市教育委員会 【共催】「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム／東京ガス株式会社 多摩支店

【後援】日本ユネスコ国内委員会／多摩市／多摩商工会議所

【協力】玉川大学／多摩市民環境会議／EARTH VISION 多摩実行委員会／NPO法人 こどもエコリテラシー協会

# 特別シンポジウム 2050年の大人づくりを目指して 「中学生の職場体験」と「ユネスコスクールの活動報告会」

2013年3月9日(土)午後 多摩永山情報教育センター

13:00~14:50 地域の一員として ~中学生の職場体験報告会~

第1部

オープニングパフォーマンス「篠笛ライブ」

主催者挨拶 多摩市教育委員会 教育長 清水哲也

来賓挨拶 日本ユネスコ国内委員会事務局 文部科学省国際統括官付 井村 隆

中学生の職場体験報告会 (進行:多摩市教育委員会指導主事/中谷 愛)

・多摩市立 東愛宕中学校 「ESDとしての職場体験」 ● コメンテーター/多摩商工会議所専務理事 松浦成業

ゲスト・トーク 「味覚は心と気持ちを豊かにする!食から考えるESD」三國清三 「オテル・ドゥ・ミクニ」オーナー・シェフ  
日本フランス料理技術組合代表 フランス農事功労章オフィシエ受勲 子どもの食育活動を推進

「ゲスト・トーク」  
三國清三シェフ

~10分休憩

15:00~17:30 2050年的大人づくり ~私たちが未来に伝え続けること~

第2部

基調講演 「ESDの10年—そして未来へ」 阿部 治 「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム代表理事 日本環境教育学会会長

事例発表 「首都圏におけるユネスコスクールのリーディングエリア多摩地域の活動」 (進行:多摩市教育委員会指導主事/中谷 愛)

- ・多摩市立 連光寺小学校 「自然・人・社会との関わりを重視して」
- ・稲城市立 稲城第五中学校 「防災ボランティア」
- ・パキスタン及びアゼルバイジャンの学校との連携による壁画紹介

~10分休憩

パネルディスカッション 「ESDの成果を上げる広域&産官学コンソーシアム」

- ・コーディネーター/福井昌平 「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム事務局長 「多摩桜プロジェクト」特別委員長
- ・パネリスト/多摩市長 阿部裕行 (多摩市のESDと市民活動) 多摩商工会議所参与 踏場敏子 (「多摩桜プロジェクト」の取り組み)  
東京ガス多摩支店長 安藤広和 (環境教育出張授業と環境イベント)

総括 ユネスコ・アジア文化センター参与 渡辺一雄

閉会の辞 多摩市教育委員会教育部長 川田賢司

## ユネスコスクール

ユネスコスクールは1953年、国際平和と人類の共通の福祉を促進するユネスコの理念を学校現場で実践する国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体ASPnet(Associated Schools Project Network)として発足、2013年には60周年を迎えます。現在、世界181カ国で約9,000校以上が活動しており、日本国内では、519校の幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び教員養成系大学が参加しています(2012年10月現在)。ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。多摩市では27の市立小中学校全校がユネスコスクール登録を目指しており、22校が登録を完了しています。

## ESD

持続発展教育(ESD:Education for Sustainable Development)は、持続可能な社会の担い手を育む教育で、ESDの実践には、特に次の2つの観点が必要です。

- ・人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
- ・他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと

そのため、環境教育、国際理解教育等の持続可能な発展に関わる諸問題に対応する個別の分野にとどまらず、環境、経済、社会の各側面から学際的かつ総合的に取り込むことが重要です。

### アクセス

#### 多摩永山情報教育センター

多摩市諏訪2-5-1  
TEL:0120-114-913  
(平日/9:00~18:00)

最寄り駅  
京王線永山駅または小田急線永山駅  
(徒歩5分)

